

— エコオフィスプランいばらき —

(第4版)

(環境保全に向けた率先実行計画)

平成 28 年度推進状況報告書



平成 29 年 12 月

○概要

茨木市では、平成11年度に本庁舎を対象に、市自らが環境に配慮した事務事業に取り組み、環境負荷低減に努めるため、「エコオフィスプランいばらき」を策定しました。また、平成15年度の見直し時に「茨木市地球温暖化対策推進実行計画」と統合し、対象範囲を本庁舎から本市の機関が行う全ての事務・事業へ拡大し、目標も見直しました。

さらに、消防本部・署で平成19年1月に、市庁舎本館・南館で同年10月から、それぞれISO14001に基づく取り組みを進め、環境マネジメントシステムを構築して、PDCAサイクルの手法でなおいっそう組織的、効率的に取り組んできたところです。

平成24年度、「エコオフィスプランいばらき（第3版）」の期間満了に伴い、新たに「エコオフィスプランいばらき（第4版）」を策定し、消防本部・署及び市庁舎本館・南館で培ったISO14001の知識やノウハウを活かしたPDCAサイクルにより、本計画を推進しています。

【実施期間】平成25年度から平成29年度（基準年度：平成23年度）

○平成28年度推進状況

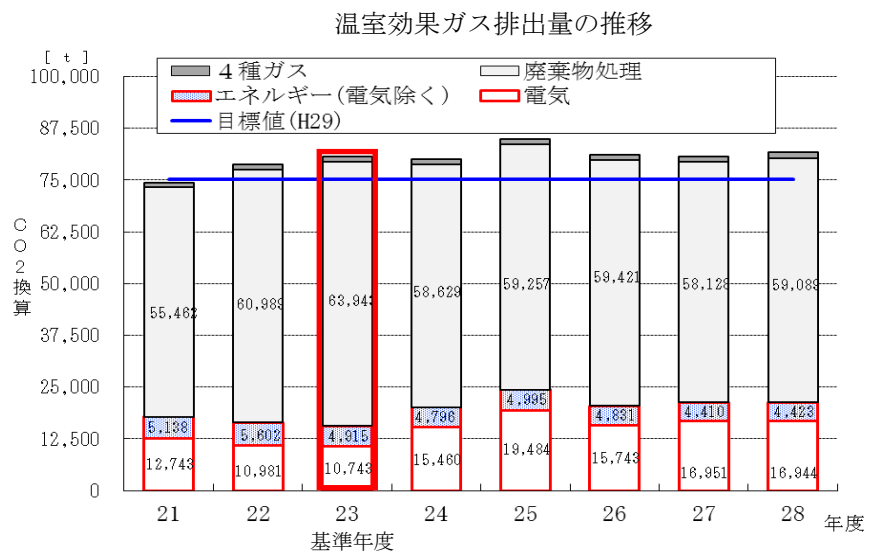
1 温室効果ガス排出量

平成23年度を基準として7%の削減を目標としています。

平成28年度は基準年度比

1.1%の増加、前年度比1.2%の増加となりました。

前年度と比較すると、電力等エネルギー使用量は同程度で推移していますが、廃棄物処理（プラスチック類）に伴う温室効果ガス排出量が増加しました。廃棄物処理（プラスチック類）に伴う温室効果ガス排出量は、市民・事業者が排出するごみの量による影響が大きいです。市の事務事業から排出されるごみの減量化にも引き続き取り組んでいく必要があります。また、電気の使用に伴うエネルギー使用量は基準年度から減少していますが、電気の使用に伴う温室効果ガス排出量が、二酸化炭素排出係数の上昇（下記の表参照）により増加しています。引き続き、省エネルギーの取り組みを進める必要があります。



前年度と比較すると、電力等エネルギー使用量は同程度で推移していますが、廃棄物処理（プラスチック類）に伴う温室効果ガス排出量が増加しました。廃棄物処理（プラスチック類）に伴う温室効果ガス排出量は、市民・事業者が排出するごみの量による影響が大きいです。市の事務事業から排出されるごみの減量化にも引き続き取り組んでいく必要があります。また、電気の使用に伴うエネルギー使用量は基準年度から減少していますが、電気の使用に伴う温室効果ガス排出量が、二酸化炭素排出係数の上昇（下記の表参照）により増加しています。引き続き、省エネルギーの取り組みを進める必要があります。

電気の二酸化炭素排出係数

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
排出係数 (kg-CO2/kWh)	関西電力	0.311	0.450	0.514	0.522	0.531	0.509
	伊藤忠エネクス (26年9月まで)			0.676	0.380	-	-
	ミツロコグリーンエネルギー (26年10月以降)				0.375	0.466	0.495

(1) 省エネルギー

(施設の使用に伴うエネルギー)

電気、ガス、灯油等、施設の使用に伴うエネルギーに関しては、使用量を原油換算して、5%の削減を目標としています。

平成28年度は、基準年度比6.1%、前年度比1.1%の削減となり、目標を達成しています。

夏季の気温が、前年度と比較し高く推移したことにより本館の空調設備の稼働時間が増加し、ガスの使用量が増加しました。一方で、廃棄物処理量の減少に伴い環境衛生センターでのコークス使用量が減少したこと等により、全体として、エネルギー使用量の削減につながりました。

エネルギー使用量の約6割を占める電気について、引き続き、節電などの省エネルギーを推進する必要があります。

8月大阪平均気温

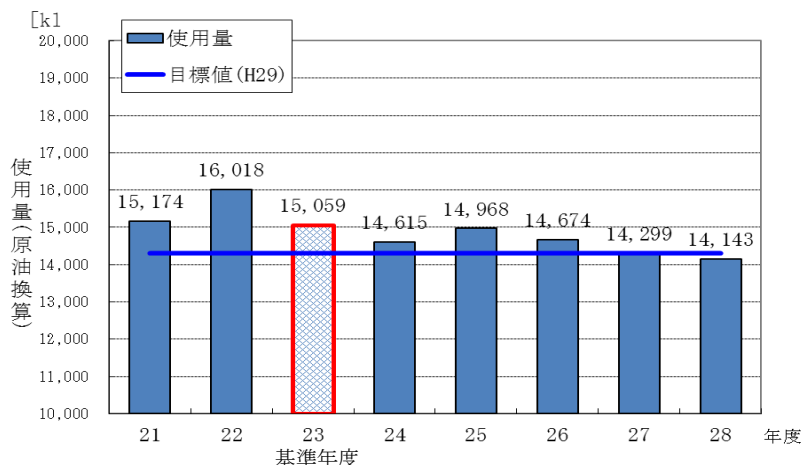
23年28.9℃、24年29.4℃

25年30.0℃、26年27.8℃

27年28.6℃、28年29.5℃

(気象庁ホームページ)

施設の使用に伴うエネルギー使用量推移



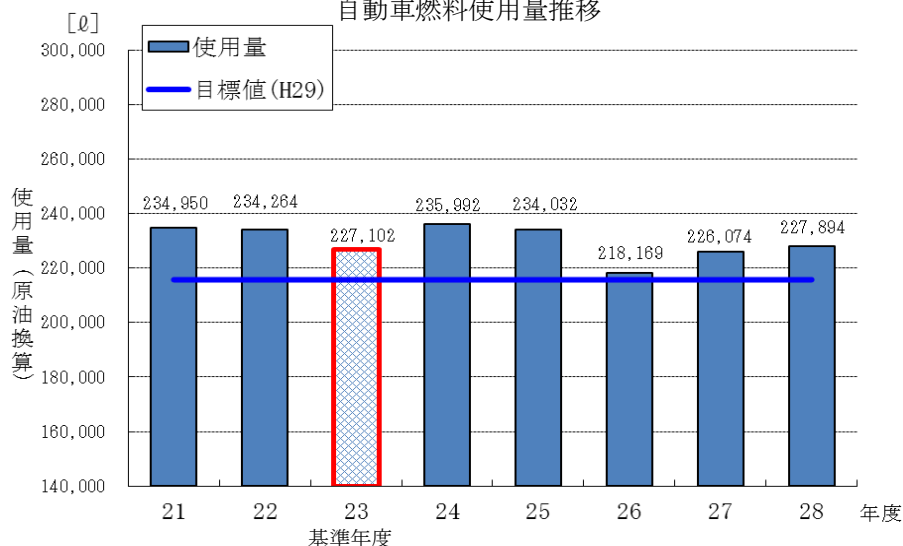
(公用車の使用に伴うエネルギー)

ガソリン、軽油等、公用車の使用に伴うエネルギーに関しては、使用量を原油換算して、5%の削減を目標としています。

平成28年度は基準年度比0.3%、前年度比0.8%の増加となりました。

公用車にハイブリッド車（市長車）や低燃費車（軽自動車）等のエコカーを導入したことや、公共交通機関の利用促進により、使用量が減少しましたが、消防本部における巡回や出動件数の変動、建設部における遠方での現場対応の増加等の要因により、全体として使用量が増加しました。年度により特殊要因に左右されますが、引き続きエコドライブに努めるとともに、近距離については自転車を利用するなど、使用量の削減に努める必要があります。

自動車燃料使用量推移



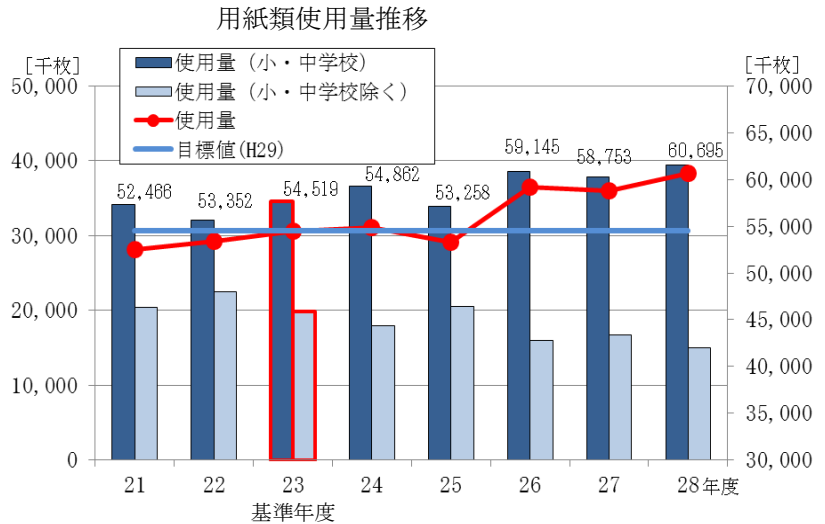
(2) 省資源

(用紙類使用量)

用紙類使用量に関しては、平成23年度レベルに抑制することを目標としています。

平成28年度は基準年度比11.3%、前年度比3.3%の増加となりました。

小・中学校を除く施設では、使用量が減少しましたが、選挙事務の執行等により、一部所属において使用量が増加しました。また、学校における印刷物が増加したため、市全体では用紙類使用量が増加しました。事務量の増加に伴い、使用量も増加傾向にあります。目標達成のためには、集約印刷の徹底、印刷時のプレビューによる確認、裏紙の使用、必要資料数の精査、印刷枚数の精査、資料のコンパクト化、会議資料の電子化などの取り組みを継続して行う必要があります。

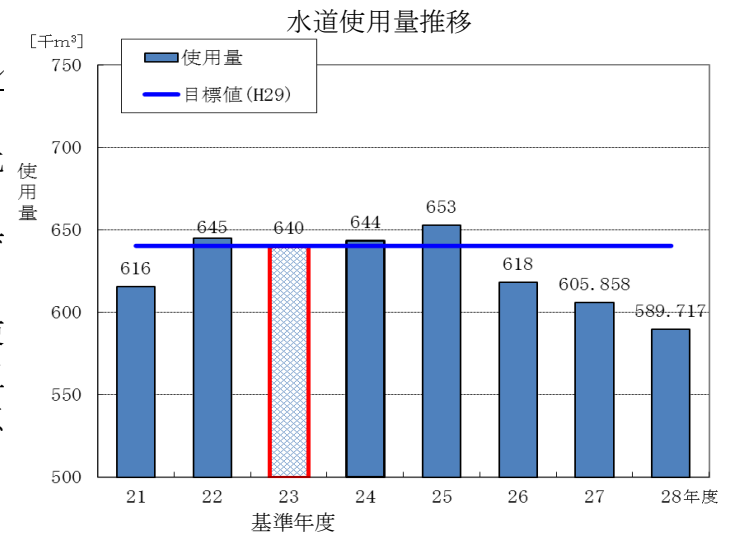


(水道使用量)

水道使用量に関しては、平成23年度レベルに抑制することを目標としています。

平成28年度は基準年度比7.9%、前年度比2.7%の削減となり、目標を達成しています。

基準年度と比較し、市民会館の閉鎖や保育所の民営化によって施設数が減少したほか、市民プールへの節水機器の導入等により、使用量が減少しました。引き続き節水の取り組みを進めるとともに、水道施設の予防的な点検の実施により、漏水への早期対応に努める必要があります。

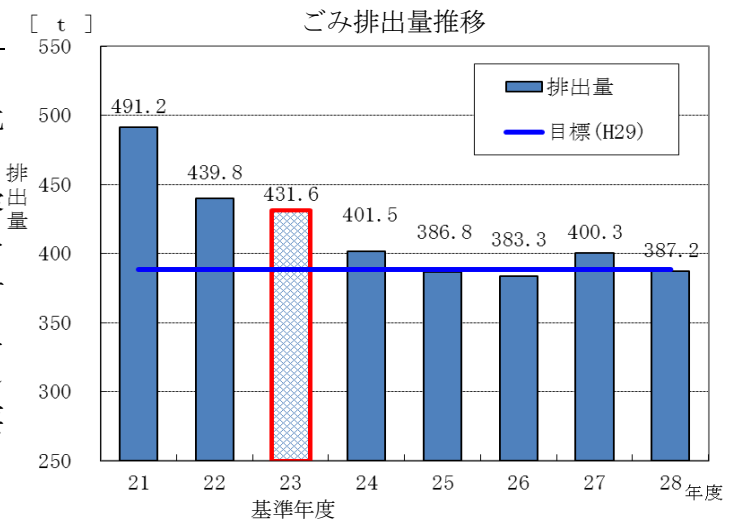


(3) ごみの減量化

ごみ減量に関しては、10%の削減を目標としています。

平成28年度は基準年度比10.3%、前年度比で3.3%の削減となり、目標を達成しています。

基準年度と比較すると、職員が昼食時に容器回収型の弁当を利用したり、マイボトルを持参するほか、茶殻を乾燥させてから廃棄するなど、ごみの分別や減量の意識が図られたこと等により、大幅な削減につながりました。引き続き、現状の取り組みを進める必要があります。



(4) 環境に配慮した事務用品の購入

平成14年度から「国等の環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく調達方針として定めた「茨木市グリーン調達方針」に従い、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」を参考にしてグリーン調達の推進に努めています。

○グリーン調達方針の調達目標及び実績（金額ベース）

特定調達物品の購入総額に占めるグリーン調達金額の割合

分類	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績
全ての特定調達物品	79.6%	82.8%	75.3%	85.7%	76.5%	78.6%

特定調達物品等

分類	調達目標	27年度実績	28年度実績	28年度購入金額 (千円)
紙類	100%	96.6%	94.8%	15,462
文具類	100%	84.5%	80.1%	17,184
オフィス家具等	100%	71.5%	95.8%	14,834
画像機器等	100%	76.9%	79.9%	12,110
電子計算機等	100%	60.8%	28.0%	222
オフィス機器等	100%	83.2%	63.0%	1,520
携帯電話	100%	購入なし	68.4%	95
家電製品	100%	80.0%	69.6%	820
エアコン・インナー等	100%	60.6%	100%	132
温水器等	100%	100%	購入なし	購入なし
照明	70%	72.6%	69.3%	3,133
自動車等	100%	52.0%	78.3%	3,233
消火器	100%	96.9%	44.2%	750
制服・作業服	80%	74.2%	58.5%	12,348
インテリア・寝装寝具	100%	14.8%	67.1%	825
作業手袋	100%	84.4%	34.5%	2,118
その他繊維製品	100%	58.1%	10.8%	1,122
災害備蓄用品	100%	84.9%	97.5%	2,272
印刷	90%	73.6%	77.2%	50,558
引越輸送	100%	-	-	-

購入金額が高い分類に注目すると、「紙類」「文具類」「制服・作業服」についてグリーン調達率が低下しましたが、「オフィス家具等」「画像機器等」「印刷」についてグリーン調達率が高くなったため、特定調達物品全体のグリーン調達率が高くなりました。

(5) 建築物の建築等に関する取り組み

平成19年4月に策定した「茨木市公共工事に係る環境配慮手順書」に従い、環境に配慮した公共工事を実施しています。

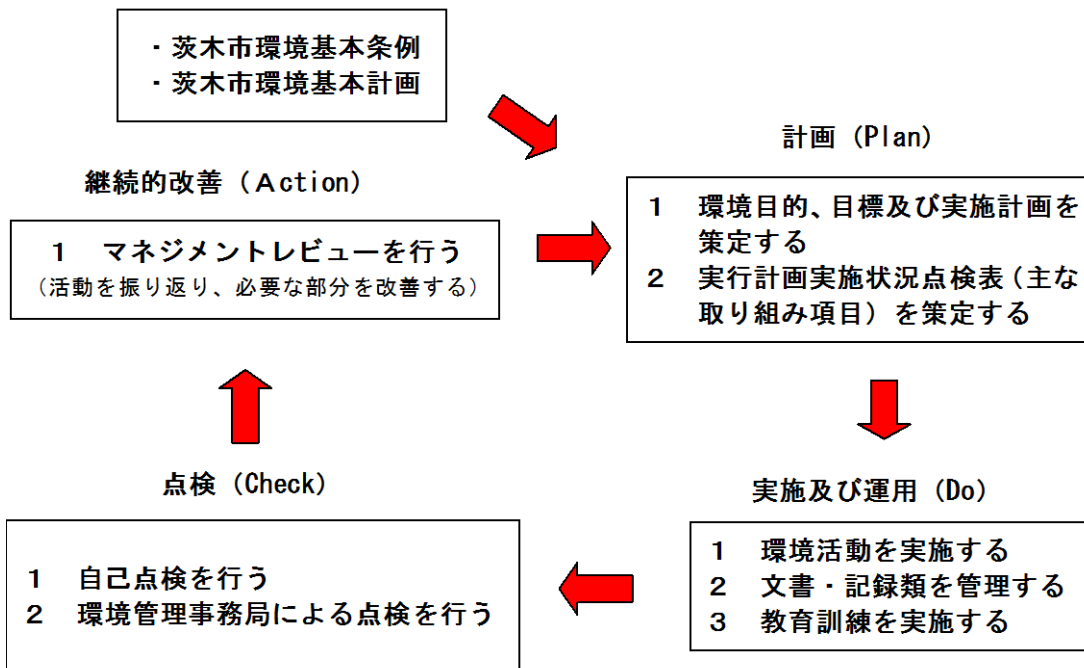
(6) イベントに関する取り組み

平成19年4月に策定した「茨木市エコイベント実施手順書」に従い、平成28年1月～12月には、参加者数1,000人以上のイベントを4回開催しました。これらイベントについては実施前後にエコイベントチェックシートを作成することで、環境に配慮しイベントを実施しています。

○計画の推進

本計画を効果的に推進するため、ISO14001の考え方であるPDCAサイクルを活用し、進行管理を行っています。

PDCAサイクル



「点検 (Check)」

「実行計画実施状況点検表」を日々記入するとともに、「環境目的・目標・実施計画」の進捗・達成状況を自己点検し、その記録を四半期ごとに「進捗状況報告書」（第4四半期は「進捗状況総括報告書(各所属)」）にとりまとめました。

また、各所属ごとの点検だけではなく、P D C Aサイクルが、適切に維持・運用されているか等について、環境管理事務局が部会単位で点検を行いました(事務局監査)。

概要は以下のとおりです。

実 施 日：平成29年2月20日から2月24日
対 象：環境管理事務局が指定した所属
監 査 結 果：別添“**主な指摘事項・推奨事項**”のとおり

「継続的改善 (Action)」

各所属におけるP D C Aサイクルの運用状況を点検するため、環境管理事務局による監査を下記のとおり実施しています。

平成28年度は、15課に対し事務局監査を行いました。各所属において、ごみの減量のための取組みがされているほか、独自のルールで整理・整頓の工夫を行っている所属もありました。

事務室内の様子



不要になったマグネットシートを活用し、ロッカーの中身を表示している。



職員名を書いたマグネットを貼り、所定の位置に書類カゴを収納している。

「エコオフィスプランいばらき(第4版)」推進状況

	23年度 (基準年度)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	対基準 年度比	対前年 度比
温室効果ガス排出量 (t)	80,884	80,156	85,085	81,283	80,769	81,751	1.1%	1.2%
廃棄物処理	63,943	58,629	59,257	59,421	58,128	59,089	-7.6%	1.7%
エネルギー(コークス除く)	15,658	20,256	24,479	20,574	21,361	21,367	36.5%	0.0%
4種ガス	1,282	1,270	1,349	1,288	1,280	1,296	1.1%	1.2%

(1) 省エネルギー

施設の使用に伴うエネルギー	電気 (kWh)	34,542,676.6	34,354,795.2	35,235,502.6	34,532,868.2	33,605,045.0	33,701,945.0	-2.4%	0.3%
	原油換算 (kl)	8,885	8,837	9,063	8,883	8,644	8,669		
	<参考> CO2換算(t)	10,743	10,684	19,484	15,743	16,951	16,944	57.7%	0.0%
	都市ガス (m ³)	1,322,777.2	1,330,956.6	1,345,876.6	1,288,696.5	1,011,526.0	1,043,235.3		
	原油換算 (kl)	1,536	1,545	1,563	1,496	1,174	1,211	-21.1%	3.1%
	CO2換算(t)	2,963.0	2,981.3	3,014.8	2,886.7	2,265.8	2,337		
	プロパンガス (kg)	107,692.4	105,103.6	103,215.4	91,382.1	88,424.0	91,840.6		
	原油換算 (kl)	141	138	135	120	116	120	-14.7%	3.9%
	CO2換算(t)	323.1	315.3	309.6	274.1	265.3	275.5		
	灯油 (ℓ)	401,809.9	324,582.6	398,039.4	416,872.8	488,596.0	471,785.8		
	原油換算 (kl)	380	307	377	395	463	447	17.4%	-3.4%
	CO2換算(t)	1,000.5	808.2	991.1	1,038.0	1,216.6	1,174.7		
	A重油 (ℓ)	12,107.2	26,442.6	24,076.8	21,745.3	25,011.0	13,748.0		
	原油換算 (kl)	12	27	25	22	26	14	13.6%	-45.0%
	CO2換算(t)	32.8	71.7	65.2	58.9	67.8	37.3		
	コークス (t)	5,410.8	4,957.8	5,016.3	4,955.4	5,018.0	4,853.1		
	原油換算 (kl)	4,104	3,761	3,805	3,759	3,806	3,681	-10.3%	-3.3%
	CO2換算(t)	17,146.8	15,711.2	15,896.7	15,703.7	15,901.6	15,379		
	合計(原油換算)	15,059	14,615	14,968	14,674	14,299	14,143	-6.1%	-1.1%

公用車燃料	ガソリン (ℓ)	127,450.6	126,858.4	125,800.7	120,412.4	125,737.2	122,765.5		
	原油換算 (ℓ)	113,773	113,244	112,300	107,490	112,243	109,590	-3.7%	-2.4%
	CO2換算(t)	295.7	294.3	291.9	279.4	291.7	284.8		
	軽油 (ℓ)	116,514.9	126,198.3	125,153.7	113,790.8	117,030.5	121,629.0		
	原油換算 (ℓ)	113,329	122,748	121,732	110,680	113,831	118,304	4.4%	3.9%
	CO2換算(t)	300.6	325.6	322.9	293.6	301.9	313.8		
合計(原油換算)	227,102	235,992	234,032	218,169	226,074	227,894	0.3%	0.8%	

(2) 省資源

用紙類使用量 (枚)	54,519,050	54,862,250	53,258,230	59,144,704	58,752,718	60,694,624		
コピー用紙	18,951,603	18,288,282	18,918,059	22,745,827	28,654,138	34,257,280	11.3%	3.3%
印刷用紙	35,567,447	36,573,968	34,340,171	36,398,877	30,098,580	26,437,344		

水道使用量 (m ³)	640,314	643,528	652,687	618,149	605,858	589,717	-7.9%	-2.7%
-------------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------	-------

(3) ごみの減量化

普通ごみ排出量 (t)	431.6	401.5	386.8	383.3	400.3	387.2	-10.3%	-3.3%
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------

～主な指摘事項・推奨事項～

【指摘事項】

○計画 (Plan)

「1 環境目的、目標及び実施計画を策定する」

- ・平成23年度を基準としているが、数値目標が平成23年度基準となっていない。
- 「2 実行計画実施状況点検表（主な取り組み項目）を策定する」
- ・実行計画実施状況点検表について、「冷暖房効果を上げるため、冷暖房時には、ブラインドを活用する」が該当なし（「-」）となっている。
- ・普通ごみ、用紙使用量の目標値の設定が適切でない。

○実施及び運用 (Do)

「2 文書・記録類を管理する」

- ・環境負荷改善状況システムに数値の入力がされていない。

○点検 (Check)

「1 自己点検を行う」

- ・進捗状況報告書が累積数値ではなく四半期ごとの数値となっており、自己点検が適切に行われていない。
- ・外部印刷している冊子の記入漏れがある。
- ・印刷用紙の使用実績をコピー用紙の使用実績と併せて管理できていない。

【推奨事項】

- ・学童保育との連絡で使用する封筒はリユースしている。
- ・雑誌類は特定調達物品ではないが、購入する際に、グリーン調達の適応物品かどうかを問い合わせを行っている。
- ・事務機については、廃棄前に部品を取り外し再利用することにより、購入数量を抑える努力をしている。
- ・簡潔な資料作りを徹底し、白黒でも分かりやすい資料作りに取り組んでおり、カラー印刷はほぼ行っていない。
- ・裏紙を電算用紙から作成している。また、印刷プレビューでの確認を徹底している。
- ・裏紙を使うための箱を複合機付近に設置し、裏紙を活用するための導線が一つにまとまっている。
- ・ホワイトボードや週報を活用し、コピー用紙の使いすぎを控えるよう意識づけしている。
- ・カウンターに扉を付けて、防寒対策をしている。
- ・マイはし・マイボトルの使用を心がけている。
- ・お茶等の生ごみを乾燥させ、減量化に努めている。

【事務局への質問・要望】

- ・エコオフィスの改定については、外部の第三者からの意見を取り入れるべきである。
- ・グリーン購入の記入が煩雑であるため、より良い改善を求める。
- ・グリーン購入報告書式については、照会時に、どの版をどのように使うのか、わかりやすく通知してほしい。

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	総務部会
環境推進総括責任者	森岡 恵美子

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比 (H23年度)	前年度比	増減理由
印刷用紙	枚	1,854,960	10.4%	11.5%	議会事務（代表質問）（総務課）や、防災関係の研修会の実施回数増（危機管理課）、個人住民税賦課事務過年度の資料作成（市民税）、議会の請求に基づく提出資料（収納課）、3選挙の執行（選挙管理委員会）により、印刷用紙の使用量が増加した。
ガソリン	L	18,258	-20.9%	-0.7%	ハイブリッド車（市長車）や低燃費車（軽自動車）等のエコカーを導入したこと、また、電動自転車や公共交通機関の利用促進により、燃料の使用量を削減することができた。
軽油	L	524	-48.0%	-1.5%	低燃費車の導入及び公共交通機関の利用促進により、軽油の使用量を削減することができた。
水道	m ³	25,123	-8.3%	0.8%	南館のトイレ洗浄水の雨水利用や本館の蛇口に取り付ける節水ゴマ、女性トイレ用擬音装置の設置等により、節水に取り組み、使用量を削減できた。
電気	kwh	3,040,775	-13.5%	6.9%	全庁的な節電の取組（夏季及び冬季）及び照明設備のLED化が進んだことにより、目標が達成できた。
ガス	m ³	63,962	18.9%	21.9%	本館の空調設備は、ガス吸収式であることから、夏期において、28℃を超える日の増加及び稼働開始時間を早めたことにより、空調（冷暖房）設備の使用時間が増加、また冬期は、議会対応に伴う暖房時間の延長により、ガス使用量が増となった。
普通ごみ	kg	536	-13.9%	-4.6%	茶殻の乾燥やマイボトル持参、容器回収型の中学校ランチ等の利用など、ごみの排出抑制に努めたことにより、目標が達成できた。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	<p>①印刷用紙については、議会事務（代表質問）（総務課）や、防災関係の研修会の実施回数増（危機管理課）、個人住民税賦課事務過年度の資料作成（市民税）、議会の請求に基づく提出資料（収納課）、3選挙の執行（選挙管理委員会）により、印刷用紙の使用量が増加した。</p> <p>②ガソリン及び軽油については、ハイブリッド車などの低燃費車を導入したこと、また、電動自転車や公共交通機関の利用など、職員一人ひとりが燃料の使用抑制に努めたことにより、目標が達成できた。</p> <p>③水道水について、南館のトイレ洗浄水の雨水利用や本館の蛇口に節水ゴマ、女性用トイレに擬音装置を取り付ける等により、節水に取り組んだ。</p> <p>④電気使用量については、H24年度からの全庁的な節電の取組及び照明設備のLED化が進んだことにより、H28年度においても目標が達成できた。</p> <p>⑤普通ごみについては、茶殻の乾燥やマイボトル持参、容器回収型の中学校ランチ等の利用など、一人ひとりがゴミの減量を心がけた結果、排出量が減少している。</p>
【15%以上が不適合】 不適合及び是正処置 ・予防処置の状況	<p>本館の空調設備の熱源は、ガス吸収式であり、H28年度において、夏期は、28℃を超える日の増加及び稼働開始時間を早めたことによる空調設備の使用時間が増加、また冬期は、議会対応に伴う暖房時間の延長により、ガス使用量が増大したが、市民サービス及び快適な職場環境づくりの観点から、削減は困難である。</p>

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）

ガスの使用量（本館）が増加傾向であるが、その他は概ね目標を達成している。
 ガス使用量の増大について、市民サービス及び快適な職場環境づくりの観点から、削減は困難であるが、今後も庁舎内の温度測定などを定期的に行い、適正な空調の運用について、指示した。
 総合的な所見としては、全体的に、良好に推移していることから、職員一人ひとりが、高い意識を持って、日常的、継続的に取り組んだ結果であると考え。引き続き、高い意識を持ってエコオフィスに取り組むよう指示をした。

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	企画財政部会
環境推進総括責任者	秋元 隆二

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
普通ごみ	kg	153.06	-54%	-18%	職員一人ひとりが排出抑制に努めたため。
印刷用紙	枚	2,558,500	-12%	0%	情報システム課において、ホスト帳票の削減が進んでいるため。
コピー用紙	枚	900,500	4%	5%	市長改選に伴う6月補正予算書印刷のため。
ガソリン	L	217.2	-31%	-2%	まち魅力発信課において、広報誌や情報提供等に係る取材の増加等により広報車を利用する機会が増加しているものの、契約検査課においてガソリン車に替わって天然ガス車を導入したため。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	<p>①普通ごみ排出量は職員一人ひとりが排出抑制に努めたため、目標を達成できた。</p> <p>②印刷用紙についても、情報システム課において、ホスト帳票の削減が進んでいるため目標を達成できた。</p> <p>③コピー用紙については、基準年度比、前年度比で増加しているものの、目標は達成できた。今後も引き続き裏紙利用、両面印刷、パソコン画面での資料確認を促進する。</p> <p>④ガソリン使用量は基準年度比、前年度比で減少しているものの、まち魅力発信課において、広報誌や情報提供等に係る取材の増加等により広報車を利用する機会が増加しているため、目標数値は達成できなかった。</p>
不適合及び是正処置・予防処置の状況	<p>ガソリン使用量については、徒歩や自転車の積極的な利用など車両使用のさらなる精査に努め、車両使用時にはエコドライブに努める。</p> <p>コピー用紙については、目標は達成できているものの、基準年度比・前年度比で増加しているため、今後も引き続き裏紙利用、両面印刷、パソコン画面での資料確認のさらなる徹底に努める。</p>

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
<p>ガソリン使用量以外の項目については、目標を達成しているものの、コピー用紙の使用量が増加傾向にある。平成29年度は、機構改正により財産活用課分の使用量の増加、特にコピー使用量の増加が見込まれるが、今回、前年度比で増加した反省を踏まえ、裏紙利用、両面印刷、パソコン画面での資料確認の促進等により、目標達成に努めること。今回、不適合となったガソリン使用量については、車両使用のさらなる精査とエコドライブを徹底し、併せてその他の項目についても目標達成できるよう、引き続き環境負荷低減に努めること。</p>

エコオフィspranいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	市民文化部会
環境推進総括責任者	田川 正文

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
普通ごみ	Kg	26,407	-43%	-5%	職員一人ひとりが努力し、ごみの減量に努めている。
印刷用紙	枚	799,150	-12%	23%	コミュニティセンターの増加、イベント事業の周知ちらし作成等により、用紙の使用量が増加した。
コピー用紙	枚	2,499,973	8%	-2%	マイナンバー制度導入に伴う事務、平成28年度は市民活動センター10周年記念会の実施に伴い印刷物が増加した。
ガソリン	L	1,315	-35%	0%	近距離は、自動車使用を控えて自転車を使用し、ガソリン使用量の削減に努めている。
灯油	L	104,000	15%	4%	火葬件数増加に伴い、灯油使用量が増加した。
電気	kWh	7,640,937	2%	3%	施設利用者数の増加等により、電気使用量が増加している。サービス低下とにならない方法での削減に取り組む。
都市ガス	m ³	492,878	-7%	1%	市民会館閉館により使用料が減少した。冬季において電気の空調が不調であったため、都市ガスをういた暖房に切り替えていた施設もあり、昨年度比較では微増した。
水道	m ³	81,331	-8%	-12%	市民会館閉館により使用料が減少した。節水に各施設とも積極的に取り組んでいる。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	用紙類の使用量が増加しているが、これは、マイナンバー事務や各種イベントの開催、公民館のコミュニティセンター化等に伴う事務量が増加したことが原因と考えられる。また、昨年のマネジメントレビューにおける職員の意識向上については、普通ごみの排出抑制やコピー用紙の使用量削減等の効果がでている。
不適合及び是正処置・予防処置の状況	コミュニティセンターの増加、イベント数の増加等といった業務量の増加により用紙類の使用量が増加しているが、両面印刷や裏紙使用、集約印刷の徹底を図り、使用量の削減に努める。また、施設利用の増加等により、都市ガス使用量や水道使用量、ガソリン使用量の増加も懸念されるが、職員一人ひとりが使用量の削減を意識し、必要があれば目標値の見直しを行う。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
業務の増加により、用紙類使用量、電気使用量が増加傾向ではあるが、その他は概ね目標を達成している。用紙類使用量は、新規業務や業務量増加、記念企画開催に伴うものと考えられる。各課において、極力コピー使用の削減に取り組むとともに、集約印刷や個人情報保護を基本に裏紙使用を徹底すること。また、公用車の使用は極力控えること。また、各課において、未達成（不適合）となった項目を分析し、必要があれば「環境目的・目標・実施計画」を見直し、適正な目標とすること。

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	健康福祉部会
環境推進総括責任者	北川 友二

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
普通ごみ	kg	26,973	40%	11%	基準年度比増は課数の増、前年度比増は医療センター改変に伴う倉庫・書庫の不要物の廃棄によるもの。
印刷用紙	枚	472,630	-48%	-26%	基準年度比、前年度比ともに印刷枚数の精査を行うなど削減に努めたもの。
コピー用紙	枚	3,843,709	9%	-3%	基準年度比増は課数増、前年度比減は職員一人ひとりが使用抑制によるもの。
ガソリン	L	6,881	30%	-2%	基準年度比増は課数増、前年度比減はエコドライブの徹底によるもの。
電気	kWh	1,520,073	-10%	0%	基準年度以来、一人ひとりが節電を徹底している。
都市ガス	m ³	163,423	-49%	2%	基準年度比減は多世代交流センターの風呂廃止によるもの。
水道	m ³	44,891	1%	19%	基準年度以来、水使用の抑制に努めていたが、前年度比増は施設利用者の増加や漏水事故によるもの。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	健康福祉部においては、基準年度と比較して機構改革による課の増並びに事業拡大等により、環境負荷は増加傾向であったが、事業の廃止や事務の精査によって、環境負荷を大きく減少させている項目(印刷用紙・都市ガス)もある。
不適合及び是正処 置・予防処置の状況	普通ごみの増加は、保健医療課の新係設置に伴って、臨時的に多量に排出されたものである。水道については、保健医療センターの水道設備の漏水によるものである。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
今後も、引き続き、職員の環境配慮への意識向上や各施設の利用者への啓発を推進するとともに、今回、大きく増加した水道については、水道設備の予防的な点検を実施することによって、漏水に早めに対応できるようにしていく。

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成 28 年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	こども育成部会
環境推進総括責任者	佐藤 房子

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
普通ごみ	kg	39,692	-7%	12%	あけぼの学園の職員の増加や認定こども園化等に伴い、排出量が増加した。
用紙類	枚	2,219,535	41%	3%	入所児童数や事業の増加に伴い、使用量が増加した。
ガソリン	L	6,003	1118%	14%	あけぼの学園送迎バスの直営化や、前年度は業者に燃料込みで委託していたため、使用量が増加した。
電気	kWh	543,794	-21%	1%	猛暑日が多く、クーラーの使用量が増加した。
ガス	m ³	42,219	-46%	-5%	各施設使用量抑制に努力している。
プロパンガス	m ³	1,447	-74%	-1%	各施設使用量抑制に努力している。
水道	m ³	31,128	-40%	4%	漏水により使用量が増加した。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	ガス・プロパンガス使用量は順調に減少している。ガソリンは契約の関係で数値が著しく増加したため、目標値の変更を行う。水道使用量の増加は、漏水によるもので目標値は達成していたと思われる。普通ごみ・用紙類は事業の拡大に伴い、児童や職員が増加したため、目標を達成できなかった。
不適合及び是正処 置・予防処置の状況	用紙類は各課とも事務量が増加しているため、使用量の削減の予防策を講じることは難しいが、積極的に裏紙を使用する。水道については、漏水等が発生した場合、修繕により速やかに保全に努める。また、ガソリンは目標値と大幅なずれが生じているため、適正な目標値に変更する。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
コピー用紙・用紙は事務量増加に伴い増加傾向にあるが、水道・電気も概ね目標を達成していたと思われる。ガソリンは適正な形で年度の目標を立て直すとともに、増加傾向にあるものは、必要最小限の使用に努め、「エコオフィスプランいばらき進捗状況報告書」の周知と日常的な意識啓発と達成度の共通認識を回り、引き続き各項目の使用量抑制に努めること。

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	産業環境部会
環境推進総括責任者	吉田 誠

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
普通ごみ	kg	172.3	-95%	-5%	職員一人ひとりがごみの排出抑制及び分別の徹底に努めたため。
印刷用紙	枚	35,570	-75%	-65%	職員一人ひとりが両面印刷の徹底や必要枚数の精査、また、可能な限り電子化を図ったため。
コピー用紙	枚	595,116	9%	12%	事務量増加に伴い使用量が増加した。
ガソリン	L	9,657.3	-10%	-1%	エコドライブの実践が徹底されている。
軽油	L	75,556.8	-6%	1%	ごみの収集業務での利用が大半であるため、ほぼ一定の使用量となっている。
電気	kWh	1,948,883	-3%	-36%	職員一人ひとりが使用抑制に努めている。
水道	m ³	16,460	18%	2%	職員一人ひとりが使用抑制に努めている。
天然ガス	m ³	39.8	-80%	-64%	7月に天然ガス使用車のリースが終了したため、それ以降の利用はない。
プロパン	kg	271.67	25%	5%	気温の変化により、給湯量が昨年度より若干増加しているが、概ね順調に推移している。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	普通ごみ、印刷用紙、ガソリン、電気、天然ガスの使用量は順調に減少しているが、コピー用紙、軽油、水道、プロパンの使用量が増加傾向にある。昨年度のマネジメントレビューの内容である電気、水道の使用量の削減については、電気は使用量を削減することができたが、水道については使用量を削減することができず増加してしまった。
不適合及び是正処置・ 予防処置の状況	用紙類使用量については昨年度まで順調に減少していたが、今年度はコピー用紙使用量が増加している。 個人情報を含むもの以外は積極的に裏紙を利用し、コピー用紙使用量の削減に努める。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
<p>コピー用紙の使用量が増加傾向にはあるが、その他は概ね目標を達成している。 コピー用紙の使用量の増加については、新規事業における事務量の増加も要因ではあるが、各課においては、引き続き裏紙使用の徹底や必要部数の精査などに取り組み、使用量の削減に努めること。 また、プロパンガスの使用量についても若干増加傾向にあるが、出先の施設での使用となっているため、使用量の大半を占める環境衛生センターを所管する環境事業課においては、施設でのエコオフィスの取組を強化するよう、適宜、施設への助言や指導をすること。</p>

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	都市整備部会
環境推進総括責任者	鎌谷 博人

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年 度比	前年度 比	増減理由
コピー用紙 ・印刷用紙	枚	480,000	-18%	5%	会議資料の作成など、紙を多く使う機会が増加したため。
普通ごみ	kg	204	-43%	-7%	紙ごみの分別の徹底など、普通ごみを減らすよう努力したため。
ガソリン	L	1082	8%	-7%	H28年度に軽自動車一台のエコカーへの入れ替えを行った。 相乗りの推進や、ゆっくりな発進を心掛けるなど、職員の間エコドライブの意識が浸透したため。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	ガソリン使用量が昨年度に引き続き減少しており、改善傾向にある。 普通ごみ排出量の削減ペースは順調である。 用紙の消費量に関しては前年度に比べて微増した。
不適合及び是正処置・予 防処置の状況	ガソリン仕様量についてはさらなるエコドライブを徹底していく。 普通ごみ排出量については紙ごみのさらなる分別と、排出削減の意識を徹底する。 用紙の消費については誤植や印刷設定のチェックなどを徹底し、印刷ミスによる消費量の増加を防ぐ。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
<p>ガソリン消費量、普通ごみ排出量に関しては、今後も環境への負荷を軽減する意識をもって、日常業務の中でそれぞれ、抑制に努められたい。</p> <p>なお、所有するもう1台の車両についても、今年度中のエコカーへの更新を予定しているため、さらなる削減効果を期待する。</p> <p>用紙の消費に関しては、可能な限り裏紙利用に努めることに加え、印刷ミス等不要な用紙消費を削減するための工夫に努められたい。</p>

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成 28 年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	建設部会
環境推進総括責任者	岸田 茂樹

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
普通ごみ	kg	5,020	-7%	-13%	各課とも事務室での普通ごみの排出削減に努めたため。
印刷用紙	枚	15,200	-78%	-85%	毎年、駐車場の運営に使用している印刷用紙を前年度に多く購入したため、平成28年度は購入枚数が減少したため。
コピー用紙	枚	1,311,500	5%	7%	下水道使用料の料金改定に伴う通知文等の印刷をしたため。
ガソリン	L	7,913	-7%	-4%	省エネ運転に心掛け、平成27年度より若干減少した。
軽油	L	16,326	8%	5%	遠方での現場対応が増えたことにより、地域の工事センターに配置されている車両の燃料使用量が増加したため。
電気	kwh	1,936,539	-30%	-0.3%	前年度に比べ、ほぼ増減はなかった。
都市ガス	m ³	11	-100%	-85%	駐車場の管理人室に設置されていた暖房器具や給湯器を順次廃止しているため、大幅に使用量が減少したため。
プロパン	m ³	1,424	-8%	-7%	多くの施設で使用量の削減に努めたため。
水道	m ³	6,030	-47%	-0.4%	前年度に比べ、ほぼ増減はなかった。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	普通ごみの排出、用紙の使用量については、削減努力により順調に減少している。コピー用紙が増加したのは、下水道使用料の料金改定に伴う通知文等の印刷や駐車場の管理運営の報告書やチラシ短冊等の印刷物が増加したためである。燃料については、ガソリンは省エネ運転に心がけ前年度より減少しているが、軽油は遠方での現場対応が増えたことにより、地域の工事センターに配置されている車両の燃料使用量が増加したため増加している。エネルギー等の日常使用に関するものは削減努力が見られる。
不適合及び是正処置・予防処置の状況	コピー用紙については、各課とも不適合が見られるため、データでの確認・保存、裏紙使用及び2枚を1枚に集約して印刷することを推進する。部全体としては、電気及びプロパンガスの使用量は減少しているが、公園施設の管理において、不適合が見られる。これは、気候変動による空調設備や厨房設備の利用状況及び周辺環境の変化によるポンプ設備の稼働状況の変化により使用量が増加したためである。今後も効率的な作業やエコ意識の徹底により削減に努める。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）

コピー用紙の増加は、業務内容により変動するため止むを得ないが、データでの確認・保存、裏紙使用及び2枚を1枚に集約して印刷することを徹底すれば改善される余地はある。その他についても、業務量の増減に左右されるが、日頃のエコへの認識や努力による減減や効率的な作業の設定、取組み等により削減に努めること。

エコオフィスパランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	教育総務部会
環境推進総括責任者	乾 克文

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
普通ごみ	kg	266,769	2%	-6%	職員一人一人が排出抑制に努めたため
コピー用紙	枚	19,134,305	201%	31%	印刷用紙からの移行のため
印刷用紙	枚	22,246,875	-25%	-13%	コピー用紙への移行のため
ガソリン	L	2,068	-28%	-2%	エコドライブの実践が徹底されてきているため
電気	kWh	9,437,639	4%	5%	エアコン等設備が充実し、使用台数が増加したため
都市ガス	m ³	502,139	-6%	3%	エアコンの使用頻度が増加したことにより、ストーブ等ガス機器の使用頻度が減少したため
プロパンガス	m ³	23,654	-15%	-3%	エアコンの使用頻度が増加したことにより、ストーブ等ガス機器の使用頻度が減少したため
灯油	L	4,400	皆増	-2%	基準年度の数値入力漏れのため
水道	m ³	380,477	-6%	-3%	節水の実践が意識されてきているため

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	目標に対する達成済項目は、印刷用紙・ガソリン・都市ガス・プロパンガス・灯油・水道使用量であり、未達成項目は、普通ごみ排出量、コピー用紙・電気使用量であった。
不適合及び是正処置・ 予防処置の状況	用紙使用量について、各学校長に対し、印刷物の精査や必要に応じた裏紙の使用等、用紙使用量の削減依頼を行った。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
<p>学校施設における用紙使用量、電気使用量は今後においても課題であることから、使用量減となるよう、引き続き学校長に周知徹底を行うこと。特に用紙使用量については、各課や各施設で印刷物の精査を徹底し、より一層の削減を意識すること。その他の項目についても、エコオフィスの取り組みを推進するために、各課や各施設において常に高い意識を持つことを指示した。</p>

エコオフィスパランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	学校教育部会
環境推進総括責任者	小川 浩一

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
コピー用紙	枚	553,500	13.4%	-17.0%	基準年度比については、主に事務量の増加による。前年度比については、紙の再利用等の取り組みにより用紙使用量を抑制できたため。
印刷用紙	枚	0	皆減	同	印刷用紙を使用しなかったため。
普通ごみ	kg	35.4	-37.9%	-6.8%	職員のごみ排出抑制に対する意識が向上しているため（教育センターは、基準年度において算入されていなかったもので算出除外）。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	平成26年度から「茨木っ子ジャンプアッププラン28」に関する各事業が始まり、会議等の資料作成に伴いコピー用紙の使用量が増加したため、翌年度からは効率性や環境面にも配慮しながら事業に取り組んだ。平成28年度も引き続き環境面に配慮しながら各事業に取り組み、コピー用紙等使用量等の削減につながった。
不適合及び是正処置・予防処置の状況	引き続き、庁内印刷においての裏紙の利用や、会議等における説明資料の精査等を徹底し、コピー用紙使用量の削減に努める。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
各課で設定した「環境スローガン」を活用して、引き続き職員の意識向上に努めること。また、「環境目的・目標・実施計画」の進捗状況を意識し、裏紙の利用徹底やごみの分別等といった日頃からの具体的な行動につなげること。

エコオフィスパランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	議会事務局部会
環境推進総括責任者	増田 作

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
普通ごみ	k g	25.3	-16%	-3%	紙ごみをリサイクル用紙とすることにより、排出抑制に努めた。
コピー用紙	枚	117,600	-3%	-1%	裏紙の使用、ミスコピー等防止のための注意徹底により用紙出力が抑制された。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	普通ごみ排出量については、紙ごみリサイクル等のさらなる推進により、基準年度比8%減の目標を達成できている。 コピー用紙については、裏紙使用等により、昨年度よりも減少させ、基準年度レベルに抑制することができた。
不適合及び是正処置・予防処置の状況	引き続き、コピー用紙削減のため、裏紙使用、両面印刷を心がけるとともに、印刷・コピーのミス防止のため、PC画面上での確認等、注意徹底し、再印刷を減らしていく。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
普通ごみ・コピー用紙ともに削減に努め、目標値を達成している。引き続き、各課において、紙ごみのリサイクル化など、普通ごみの削減について、さらなる意識付けを行っていくこと。また、コピー用紙については、裏紙の使用、両面印刷を徹底していくこと。

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	水道部会
環境推進総括責任者	福岡 俊孝

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年度比	前年度比	増減理由
電気	kWh	7,423,009	-1%	3%	水需要が増加したため。
都市ガス	m ³	3,726	-15%	-10%	使用量の削減に努力した。
プロパンガス	m ³	75	-36%	-5%	使用量の削減に努力した。
ガソリン	L	10,365	-5%	-5%	エコドライブ等により抑制に努めた。
軽油	L	1,216	-19%	-18%	エコドライブ等により抑制に努めた。
天然ガス	L	0	-100%	-100%	天然ガス車を廃車したことから、使用量がなくなった。
コピー用紙	枚	447,934	24%	-2%	新規事業等により、使用量が増え、基準年度より使用量が増加した。
普通ごみ	kg	911	-10%	-9%	排出抑制に努めた。

項目	内容
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	電気の使用量が増加している。給水人口の増加や夏期の気温が高かったことにより水の使用量が増加したため、給水量が増加し、浄水場等の電気の使用量が増加した。コピー用紙の使用量が基準年度より増加している。これは彩都開発関連事業や水道事業ビジョン関連事業による市民アンケートの印刷等により使用量が増えたためである。
不適合及び是正処置・ 予防処置の状況	電気の使用量の増加は給水量の増加によるものについては、削減することは難しいが、事務所等での電気の使用については、今後も職員一人ひとりが意識し節電に努めていく。コピー用紙の使用量については、引き続き両面印刷・集約印刷、裏紙の利用を徹底して、排出量の削減に努める。

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）
電気の使用量については、事務所等での使用において節電に努めていく。コピー用紙の使用量については、基準年度になかった新規事業により増加した。今後は、新規事業の内容によりコピー用紙の使用量は増減するが、参考資料などは両面印刷・集約印刷、裏紙の使用により削減に努めるよう、各所属へ周知し、今後も取組を推進していく。

エコオフィスプランいばらき実施状況報告書（部会）

平成28年度

（あて先）環境管理責任者

部会名	消防本部部会
環境推進総括責任者	泉 頼明

エネルギー等各種使用量					
種類	単位	合計	基準年 度比	前年度 比	増減理由
コピー用紙	枚	584,000	65%	4%	上質紙を使用する業務を一部コピー用紙に変更したためや資料等の印刷増加による増加
印刷用紙	枚	46,000	-48%	43%	上質紙を使用する業務を一部コピー用紙に変更したため減少。前年度比増加理由は、購入時期で増加
普通ごみ	kg	3,880	-6%	-1%	職員の環境に対する意識の変化による減少
水道	m ³	6,759	15%	2%	火災等の件数、内容や訓練による変動
電気	kWh	401,639	20%	8%	職員数の増加による増加
都市ガス	m ³	9,732	27%	4%	職員数増加、共同炊事等による増加
プロパンガス	m ³	1,046	-9%	14%	職員数増加、共同炊事や平成28年度冬の気温が低かったため、暖房器具の使用増加等による増加
ガソリン	ℓ	59,967	-3%	-2%	巡回や出勤事案の件数・内容や訓練による変動
軽油	ℓ	28,005	54%	15%	巡回や出勤事案の件数・内容や訓練による変動
オイル	ℓ	217	97%	23%	オイル交換時期の重複による増加
資源化量（容器類）	kg	774	-35%	-5%	職員の環境に対する意識の変化による減少
項目	内 容				
目的・目標の達成度 各種環境活動の状況	印刷必要な資料等や文書の増加による用紙使用。 水道光熱については職員の増加等により増加。				
不適合及び是正処置・予 防処置の状況	電子化出来る資料等は積極的に電子化を進めるが、現状電子化出来ない資料等もあるため、必要最低限の印刷のみにするよう努めている。				

今後の改善事項（マネジメントレビューの内容）

今後も資料等の電子化可能なものは電子化を進めていくが、現状紙に印刷する必要のある書類もたくさんあるため、必要最低限の印刷や裏紙使用可能な資料であれば裏紙での印刷を推進する。